

トンネル点検車から 学校が見えたよ！



小学生が
道路維持機械を見学



7月20日(金)、当部小樽道路事務所で小学生を対象に道路維持機械の見学会を行いました。

この見学会は道路維持管理の役割を学習してもらうとともに、道路を身近に感じてもらうことを目的に開催したもので、長橋小学校の2年生37名が小樽道路事務所を訪れました。

子供たちは事務所会議室で職員から道路維持管理についての説明を聞き、道路の役割についてのビデオを見た後、事務所内の「ひみつの部屋」に案内されました。

「ひみつの部屋」とは情報管理室のことで、こちらでは管内の国道の映像モニターが数台設置され、道路状況の把握や情報提供等を行っています。子供たちは国道5号の長橋トンネルや小学校付近の映像が映し出されると、「知ってる！」と大きな声で言いながら、モニターを食い入るように見ていました。

管理室内のパソコンも、職員から「さわってみてもいいですよ」と声をかけられると、おそるおそるマウスを動かして画像を眺めていました。

その後、事務所駐車場に移動。敷地内には散水車、路面清掃車、草刈車、トンネル点検車などの計8台の道路維持機械が並び、それぞれの機械の道路での役割についての説明を職員から受けながら見学しました。



各種道路維持機械が並んでいます



散水車の水の勢いにびっくり！



運転席に座ってハンドルを握ってみました

～トンネル点検車実体験～



安全ベルトを着けて、ヘルメットをかぶって



作業台に乗ります



最後に、トンネル点検車の作業台に乗って、作業台が約10メートルまで上がるのを実体験。子供たちは「学校が見えた！」「こわかったけど楽しかった」「もう1回乗りたい！」と口々にしていました。

普段道路で見かける維持機械を間近で見て、実際に乗って体験することで、その役割について学んでもらえたことと思います。



どんどん上がって行って



こんなに高くまで！建物3階建てくらいの高さです